



とっとり 国際通信

公益財団法人
鳥取県国際交流財団
Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取县国际交流财团

No.136
Mar. 2021

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鸟取国际通讯 Bản tin quốc tế Tottori



表紙 Photo

第32回 タイムフェスティバルを開催しました

Opening of the 32nd Annual TIME Festival

第32回 タイム国際交流欢乐节

Lễ hội lần thứ 32 đã được tổ chức

目次 Contents / 目录 / Mục lục

● TPIEF だより

- 事業の開催報告 02
 - 地域における日本語教育支援者養成講座
 - 第32回 タイムフェスティバル
 - 医療・コミュニティ通訳ボランティア養成講座 03
- 寄贈品の報告 03
- 令和3年度 日本語クラス(前期)ご案内 04
- JICAデスクよりお知らせ 04

とっとりじん

- われら“鳥取人” 05
- 特集「やさしい日本語」ってなあに? 06-07
- 英語版・中国語版・ベトナム語版
ダイジェスト 08-09
 - Information in English and Chinese
 - 英文版・中文版文摘
 - Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt
- 賛助会員募集のご案内 10
- おすすめ図書コーナー 10

主な事業の開催状況

教える力を伸ばそう～日本語指導のステップアップを目指して～

地域における日本語教育支援者養成講座

2021年1月16日(土)、24日(日) 伯耆しあわせの郷(倉吉市) & オンライン

在住外国人が増え続ける中、外国人の皆さんが最初にぶつかる「言葉の壁」をなくすため、地域における日本語教育支援者として活動する意欲をお持ちの方を対象に、「入門講座」と現在活動中の方へ向けた「スキルアップ講座」を2日間に渡って開催しました。

今回の講座は新型コロナウイルス感染症対策としてリモート研修での開催とし、講師は東京からオンラインで講義を行い、受講者は自宅でオンライン受講する方と会場に設置した大型スクリーンで受講する方に分かれて受講していただきました。講座では、まず入門講座で講師が、外国人が地域で生活していくために必要な日本語力について説明し、学習者の状況に応じたテキストの説明と使い方を指導してくださいました。そしてスキルアップ講座では、財団の日本語クラスで使用しているテキスト『いっぽにほんごさんぽ』の使い方を中心に、少ない文型で学習者の発話を促す方法、働く外国人への効果的な指導方法としてシャドーイングの取り入れ方、敬語の分類・使い方・指導法などを学びました。

来年度も同様の講座を予定しています。興味のある方は、ぜひご受講いただき、お近くの外国人への日本語指導にお役立てください。

受講者からの感想



国語と日本語の違いを知り、日本語を“外国語”として教えるポイントが分かった!

日本語を教えるときの言葉づかいや姿勢が参考になった。

オンラインもあり、会場に行けない人への配慮も含めて今回参加できてよかった!



第32回タイムフェスティバル

2021年1月24日(日) とりぎん文化会館(鳥取市) & オンライン

コロナ禍で集合型のイベントを中止する傾向が多中でしたが、コロナ対策をしっかり行いつつ、実行委員会形式で準備、開催することができました。今年度は、会場での小規模な集合型(展示等)とオンライン上に設置した特設サイトから配信するというハイブリッド方式で開催し、オンラインでは事前に動画撮影したワールドファッションショーや当日ステージでのパフォーマンスをYouTubeで配信したほか、韓国などとZoom対話でつながりました。

また、実行委員会のメンバーに高校生や大学生が入ることによって豊かなアイデアが生まれました。例えば今回飲食の提供は残念ながらできませんでしたが、鳥取市内の様々な多国籍レストランに期間限定で協賛していただくことができました。

フェスティバル終了後、アンケートを集計すると、「コロナ禍での開催お疲れさまでした!」という声をたくさんいただきました。来年度は2021年11月7日(日)開催予定です。また皆さんと笑顔でお会いできることを楽しみにしています。

特設サイト <https://timefestival2020.jimdofree.com/>



医療・コミュニティ通訳ボランティア養成講座

2021年2月17日(水)、24日(水)、3月3日(水) 倉吉未来中心(倉吉市) & オンライン

当財団では、医療・保健機関、学校や行政窓口等で通訳をするボランティアの派遣を行っています。英語、中国語、ベトナム語の新たな人材育成のため、今年度は3回連続の養成講座を実施しました。これは、語学講座ではなく通訳者として必要な知識と技術の基礎を研修していただくことを趣旨とする講座です。

初めて会場参加型とオンラインの両方で実施し、新規受講者及び既登録者を合わせて47名の方が受講されました。

通訳者として必要な通訳倫理、通訳技術については、東京を拠点にバイリンガル人材派遣や多言語コールセンターの運営を行っている株式会社ブリックスのスタッフから座学やロールプレイを中心に学び、県内の外国人住民の現状と課題、医療に関する基礎知識や感染症に対する正しい知識については、県内講師にご教示いただきました。

講師もほぼ全員がオンラインによる指導で、途中音声途切れるなどのトラブルもありましたが、受講者の方々は毎回熱心に取り組んでいただけました。



今後の取り組み

今後、多文化共生社会を推進していくためには、通訳ボランティアの役割はますます重要なものとなり、ボランティア人材の確保と育成が喫緊の課題となっています。そのため、人材の確保・育成・派遣の三本立てで事業を実施し、通訳ボランティアの一体的な充実を図っていきます。

また、当財団では早急に制度構築が必要であった医療通訳ボランティア制度を先に設けたため、学校や行政機関窓口での通訳とを区別して運営してきましたが、依頼者にとってより利用しやすい制度にするため様式を統一し、ホームページに派遣依頼フォームを設置するなど、利用者目線での改善を来年度以降に検討しています。なお、派遣の流れは下記の通りで大きな変更はありません。



※派遣対象外 | トラブルや交渉事、個人宅での通訳、個人の契約に関する事など。

米子青年会議所様から伝統工芸品を寄贈していただきました!

米子青年会議所様より国際交流に役立ててほしいと、鳥取県の伝統工芸品である淀江傘1本と弓浜餅の卓上クロス2枚を寄贈していただきました。これらの伝統工芸品は、今後、国際交流イベント等で活用させていただきます。ありがとうございました。



第1期 日本語クラスのご案内

受講料：無料



エリア	日時等	会場
東部 (本所)	4/11～7/25 (16回) 日曜日	基礎クラス 9:30-11:00
		初級クラス 11:00-12:30
		中級クラス 13:00-14:30
		生活漢字クラス 14:40-16:10
		子どもにほんごクラス 13:00-16:00
鳥取市 高齢者福祉センター (鳥取市富安2-104-1)		
中部 (倉吉事務所)	4/14～7/28 (15回) 水曜日	水曜日クラス(初級) 14:00-15:30
	4/11～7/18 (13回) 日曜日 ※4/25、5/2はお休み	日曜日クラス(基礎) 13:30-15:00
		日曜日クラス(初級) 15:15-16:45
鳥取県中部総合事務所別館 (倉吉市東蔵城町2)		
西部 (米子事務所)	4/18～7/18 (12回) 日曜日 ※5/2、6/6はお休み	基礎クラス 10:15-11:45
		初級クラス 13:30-15:00
米子コンベンションセンター (米子市末広町294)		

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、クラスに定員を設けさせていただきます。
- 受講される方に、当日の体調管理、入退室時のアルコール消毒、マスクの着用など一定のルールを守っていただきます。
- 日本語クラスパートナー(ボランティア)の活動を希望される方は各事務所までお問い合わせください。
- 開催日時は今後の新型コロナウイルス感染状況によって変更する場合があります。事前に財団ホームページ等でご確認ください。



問合せ先 鳥取県国際交流財団 各事務所
(連絡先は最後のページをご覧ください)

We are 鳥取人

県内在住の外国出身者に鳥取に住んで感じるなど紹介していただきます!

鳥取21年目

小東 昭恵さん

(中国出身、鳥取市在住)



今や第二の故郷に

日本に来てちょうど21年になりました。初めて日本に到着したとき、関西空港から鳥取へ向かう中、車窓から見える景色がだんだん田舎の風景へ移り変わっていき、鳥取に着いたときには正直驚きました。中国に住んでいた頃、「日本は進んでいる」と思っていたので、鳥取に来たばかりの頃は、これから鳥取で生活していくことが少し不安にもなりました。

それが、今や鳥取は私にとって第二の故郷となりました。中国に帰省したとしても何日か経てば鳥取に戻りたくくなります。すっかり鳥取人になりましたね。もともと都会のごみごみした場所が好きの方ではないので、自然豊かで静かな鳥取は住みやすいです。私の故郷は内陸地で山も海もなく、川と湖の町なので、小さい頃から山も海もあるところに住みたいと思っていました。そういう意味でも、ずっと夢見てきた場所に住むことができていると思います。

健康の秘訣

来県して間もない頃、健康のためにと始めた水泳が今一番の楽しみです。実は、鳥取に来るまで私は一度も泳いだことがありませんでした。中国の学校にはプールはもちろん、水泳の授業がありません。町にも水泳を学ぶ場所はなく、湖や川はありますが、危ないので親が子どもを泳がせることはありません。そういう環境で育った私にとって、泳ぐことは子どもの頃から夢でした。水泳を習い始めた初日に体が浮くことができたときは嬉しくて、すぐ故郷の母に電話したほどです。それから一カ月くらい経つと、クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの4種目で泳ぐことができるようになりました。一年後には、通っていたスポーツジムの中で大会に出場するチームのメンバーに選ばれ、鳥取県マスターズ水泳競技大会に出場することになりました。大会に参加することで、新たな自分の目標ができ、大会の楽しさを知ることができました。

この大会にはこれまで9年連続で参加しています。今年でちょうど10回連続出場となる予定ですが、コロナ禍により今年は大会が開催されるか分かりません。

水泳を通じてたくさんの友人もできました。今は週5日間練習していますが、もし一日二日でも私が練習を休めば、仲間が心配して連絡をくれます。



水泳大会にて

鳥取に住む私たちが良さを発信

年に一回程度、県内に住む中国出身の友人20～30人と交流会を開き、美味しいものを食べながら話したり、歌やダンスを楽しんだりして繋がっています。ただ去年コロナの影響が出てからは残念ながら開催できていません。

コロナが収束して以前のように中国からたくさんの人たちが鳥取県に足を運んでくれるとうれしいですね。鳥取県は素晴らしいところです。鳥取県に住む私たちが鳥取の良さを発信していくことで、全国の中でも更に海外の人たちから人気の地となることを願っています。



中国出身の皆さんとの交流会

JICA デスクよりお知らせ 2021年度 JICA海外協力隊春募集

募集期間：2021年5月20日(木)～6月30日(水) 日本時間 正午締切り

JICA海外協力隊員の渡航再開では、安全の確保について国ごと、案件ごとに検討し、順次渡航を行っています。つきましては新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえ、JICA海外協力隊(長期派遣)の春募集を再開します。JICA海外協力隊に関心のある方は、応募をご検討ください。



お問い合わせ

鳥取県JICAデスク(担当:森木)

〒680-0846 鳥取市扇町21
鳥取県生涯学習センター(県民ふれあい会館)3階
TEL: 0857-51-1165 FAX: 0857-51-1175
URL: <http://www.torisakyu.or.jp>
Eメール: tottoriken.desk@gmail.com
facebook: <https://www.facebook.com/jica.tottori/>

国際協力出前講座

JICA海外協力隊経験者の体験談をはじめ、持続可能な開発目標SDGsのワークショップや多文化共生などそれぞれのニーズに柔軟に対応し、参加型学習を提供しています。世界のさまざまな課題や世界と私たちとのつながりについて一緒に考えてみませんか?お気軽にお問い合わせください。